

自然の恵み 人々の努力 厳かに収穫

献穀田拔穂式



9月10日、宮中行事の新嘗祭にいなめさいに供える献穀米ぬきほの拔穂式が、石川哲司さん（久喜）の献穀田で厳かに行われました。白装束姿の石川さんと今庄小学校6年生の刈女かりめ、関係者らが献穀田に入り、たわわに実った黄金色の稲穂を一株ずつ丁寧に刈り取りました。石川さんは「田植えから収穫まで、すべてが手作業。初めての経験でした。面積の関係で肥料などの調整が難しかったですが、多くの人々の協力もあって、いいお米ができ、ほっとしています」と話していました。収穫したコシヒカリは、脱穀、精米等を行い、石川さんらが10月下旬頃に皇居に献納します。

いきいき すこやか いつまでも 南越前町敬老会

敬老の日にちなみ、9月12日から20日にかけて、約980人が参加し、地区ごとに敬老会が開かれました。まず、金婚のご夫婦（28組）、米寿を迎えた方（63人）にお祝いが贈られた後、今庄地区ではしゃくなげ会による吟舞が、南条・河野地区では保育所児らの踊りや太鼓演奏が披露され、「おじいちゃん、おばあちゃん、いつまでも元気で長生きしてね」との子どもたちの呼びかけに、優しい笑みがこぼれていました。また、芸能アトラクションも行われ、参加者らは楽しいひと時を過ごしていました。



よみがえる宿場町 街道浪漫・今庄宿 2008

9月14日、JR今庄駅周辺で、北陸の玄関口であった今庄宿を再現する街道浪漫・今庄宿2008が開かれました。街道沿いでは今庄自慢のそば、地酒、茶飯などの販売や今庄音頭、今庄羽根曾踊りなどが披露され、訪れた人たちは、よみがえった宿場町の雰囲気を楽しんでいました。また、今回は鯖街道の宿場町のひとつ、若狭町の熊川宿と初めて交流。熊川宿のイベントで使用されている駕籠かこの展示や駕籠乗り体験が行われ、子どもたちの人気を集めていました。



クライマックスでは、夜叉ヶ池の伝説をテーマにした蛇踊りの行列が上の関所、中の関所、下の関所から公徳園に向けてスタート。全長25メートルの大蛇を今庄中学校の生徒や地元有志らが太鼓の演奏に合わせて勇壮に操り、祭りを盛り上げました。



新鮮野菜がおいしい

四季菜来店者 30万人達成

9月6日、農産物直売所「四季菜」が、買い物客30万人目を迎え、30万人目となった高瀬ミヤ子さん（越前市）に、南条農産物等直売組合の山内博組合長からナスやミョウガなどが入った特製野菜バスケットとトルコギキョウの花束が贈られました。高瀬さんは夫の政義さんと来店。「週に1回は来ています。野菜の種類が多く、安くて新鮮でおいしい。今日は思いがけないプレゼントにびっくりです」と喜んでいました。



交通安全を胸に誓い

交通安全キャラバン隊来町

9月2日、「みんなですすめる交通安全」全国キャラバン隊が来町し、内閣府からの交通安全推進メッセージを伝達しました。式では、県交通安全母の会会長が、「交通事故にあった人も事故を起こした人も、家族全員が悲しい思いをします。家族や子供を亡くした悲しみは、想像以上。母である私たちだからできる活動を続けていきたい」とあいさつ。増澤町長は直筆の「乗って極楽 急いで地獄」と書いた色紙を手渡しました。



災害に備えて 防災訓練

9月7日、南越前町で大地震が発生したとの想定で、今庄365スキー場で防災研修会が、堺地区体育館で住民避難訓練が行われました。防災研修会は各区の代表者が受講、避難時の手順などについて説明を受け、防災に対する意識を新たにしました。また、堺地区住民は堺体育館で消火器を使用した初期消火訓練を実施、消防署員から、慌てず余裕をもって行動するよう指導を受けながら、災害に備えていました。

